

平成 16 年 11 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社 大 京  
代 表 者 名 取締役社長 山 崎 治 平  
(コード番号 8840 東証・大証 第 1 部)  
問 合 わ せ 先 執行役員広報部長 大越 武  
TEL : 03 - 3475 - 3802

平成 17 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 16 年 5 月 21 日の決算発表時に公表いたしました平成 17 年 3 月期(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)の通期業績予想を、下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成17年3月期の通期個別業績予想数値の修正(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	313,000	13,000	7,000
今回修正予想(B)	352,000	44,000	108,000
増減額(B-A)	39,000	57,000	115,000
増減率(%)	12.5%	-	-
前期実績(平成16年3月期)	319,831	10,385	6,036

2. 平成17年3月期の通期連結業績予想数値の修正(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	410,000	18,000	8,500
今回修正予想(B)	453,000	40,000	106,000
増減額(B-A)	43,000	58,000	114,500
増減率(%)	10.5%	-	-
前期実績(平成16年3月期)	340,584	12,712	6,639

3. 修正の理由

当社グループは、マンション分譲事業の足元の市場環境が厳しさを増す中、グループの総合力を発揮し、マンション販売を中心とした売上高、収益の改善に取り組み、当中間期も着実に成果をあげてまいりました。

一方、当社を取り巻く経営環境の変化、とりわけ金融情勢の激しい変化の中で当社グループの再生を図るため、含み損の一掃と財務体質の改善を加速する必要に迫られております。

当社グループは、平成16年9月28日発表の事業再生計画に基づき、「固定資産の減損に係る会計基準」の早期適用を行うと同時に、「コア事業への経営資源集中」、「ノンコア事業からの原則撤退」の基本方針に則り、子会社、関連会社の事業ならびに資本関係の見直し、整理を実施いたしました。

この結果、当中間期において減損会計の早期適用および今後実施する企業組織再編等に伴う損失処理を実施したことにより、多額の特別損失を計上し中間純利益は大幅な損失となったことなどにより、通期業績予想においても修正を行うものです。

当社グループはかかる状況を解消するため、総額 1,765 億円の金融支援(債権放棄 1,465 億円の債務免除およびデット・エクイティ・スワップ 300 億円)を主たる内容とする事業再生計画について、平成 16 年 9 月 28 日に株式会社産業再生機構へ支援の申し込みを行い、同日付で「支援決定」の通知を受け、平成 16 年 11 月 26 日付で「買取決定」の通知を受けております。

( 1 ) 個別業績予想の修正の理由は以下のとおりであります。

前述のとおり、当社の主要な事業である不動産販売事業においては、グループ連携強化による組織的販売体制の定着などにより、マンション販売が好調に推移しておりマンション売上高が当初予想より上振れとなる見込みであります。加えて、一括処理による土地建物売上高が増加するため、売上高全体では 3,520 億円となる見込みです。

また、上記の土地建物のうち、別荘、レジャー用地、未事業化土地等、当中間期に特別損失段階ですでに評価損計上済み物件について下期に売却を予定しております。その売上に際しては、当該評価損相当額を売上原価に含めて処理いたします。このため、経常利益は 440 億円の損失を計上する見込みであり、同時にその相当分について特別損失の計上が減少することになります。

なお、当期純利益につきましては、減損会計の早期適用および企業組織再編等の実施に伴い発生する損失額約 2,170 億円を特別損失に計上するとともに、主要取引金融機関に対し債権放棄 1,465 億円の金融支援を要請しておりますので、当期純利益は 1,080 億円の損失となる見込みであります。

( 2 ) 連結業績予想の修正の理由は以下のとおりであります。

主に連結財務諸表提出会社(当社)の平成 17 年 3 月期通期個別業績予想の修正に伴い、連結業績予想の修正を行うものであります。

<業績等の予想に関する注意事項>

上記の予想数値は現時点で得られた情報に基づいて判断した予想であり、実際の業績等は様々な要因により当該予想と異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。

以 上